

一生涯のパートナー

第一生命

第一生命グループ



いつでもあなたに、とおきを。
第一フロンティア生命
第一生命グループ



「あつらいいな」をいちばんに。
ネオファースト生命
第一生命グループ

2021年9月17日

第一生命保険株式会社

第一フロンティア生命保険株式会社

ネオファースト生命保険株式会社

GLP投資法人が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドへの投資 ～高い環境性能を誇る物流施設の拡大を通じて持続可能なまちづくりを後押し～

第一生命保険株式会社（代表取締役社長：稲垣 精二、以下「第一生命」）、第一フロンティア生命保険株式会社（代表取締役社長：武富 正夫、以下「第一フロンティア生命」）およびネオファースト生命保険株式会社（代表取締役社長：徳岡 裕士、以下「ネオファースト生命」）は、GLP 投資法人¹が発行するサステナビリティ・リンク・ボンドに 60 億円²（発行額全額）投資することを決定しましたので、お知らせします。

サステナビリティ・リンク・ボンドは、事前に設定されたサステナビリティ・パフォーマンス目標（以下、「SPTs」）の達成状況によって金利が変動する仕組みとなっており、発行体の取組み・行動変容を後押しすることで、環境・社会面において持続可能な経済活動を促進・支援することを目指す金融商品です。なお、本債券は、株式会社日本格付研究所（JCR）から、サステナビリティ・リンク・ボンド原則およびグリーンボンド原則との整合性等について第三者意見を取得しています。

GLP 投資法人は物流施設に特化した上場不動産投資法人であり、「投資家、顧客、及び業務を行う地域社会を含む、すべてのステークホルダーの価値の最大化により、ベストインクラスの物流施設を創出する」という理念の下、環境に配慮した物件の保有や設備の導入を積極的に行っています。こうした中、同社は 2024 年までに保有する物件における高ランクの環境認証取得割合³を 80%以上（延べ床面積ベース）とすることを目標に掲げており、本債券の SPTs にも当該目標を設定しています。本債券は、この目標の達成状況に応じて金利が変動する仕組みとなっており、環境・社会に配慮した物流施設の拡大を通じ、持続可能なまちづくりにつながることが期待されます。

第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命は、本投資が GLP 投資法人におけるサステナビリティ取組みの更なる推進の動機付けとなり、持続可能な社会の実現に向けた取組みの後押しとなることを期待しています。今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

【本債券の概要】

発行体	GLP 投資法人（株式会社日本格付研究所（JCR） 格付：AA）
発行額	60 億円
年限	7 年
サステナビリティ・パフォーマンス目標（SPTs）	GLP 投資法人が保有する物件における高ランクの環境認証取得の割合を 2024 年までに 80%以上（延床面積ベース）とする。

¹ GLP 投資法人は物流施設に特化した、資産規模 7,880 億円の上場不動産投資法人です。

² 第一生命：50 億円、第一フロンティア生命：5 億円、ネオファースト生命：5 億円

³ 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）、建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）、Leadership in Energy and Environmental Design（LEED）、DBJ Green Building 認証等の環境・社会への配慮を評価する著名な認証制度において一定以上の高評価を得ている物件の割合。